

会議録【要点筆記】

会議名称	第1回 米沢市教育振興基本計画検討委員会																										
開催日時	令和7年6月25日(水) 9時55分～12時5分																										
開催場所	置賜総合文化センター 2階 203 研修室																										
出席者	<table border="0"> <thead> <tr> <th>(委員等氏名)</th> <th>(所属団体等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委員長 山口 玲子</td> <td>米沢市小学校長会会長/米沢市立興譲小学校長</td> </tr> <tr> <td>委員 土田 知良</td> <td>米沢市中学校長会/米沢市立第二中学校長</td> </tr> <tr> <td>委員 吉田 直史</td> <td>米沢市内高等学校長会/山形県立米沢興譲館高等学校長</td> </tr> <tr> <td>委員 西辻 祥太郎</td> <td>山形大学工学部准教授</td> </tr> <tr> <td>委員 石崎 毅</td> <td>山形県立米沢女子短期大学教授</td> </tr> <tr> <td>委員 宇山 栄一</td> <td>米沢市社会教育委員・米沢市公民館運営審議会委員長</td> </tr> <tr> <td>委員 佐藤 美洋</td> <td>米沢市PTA連合会会長</td> </tr> <tr> <td>委員 佐藤 繁</td> <td>米沢市芸術文化協会会長</td> </tr> <tr> <td>委員 曾根 伸之</td> <td>米沢市上杉博物館館長</td> </tr> <tr> <td>委員 大河原 真樹</td> <td>米沢市スポーツ協会副会長</td> </tr> <tr> <td>委員 安部 剛</td> <td>米沢市民生委員・児童委員連合協議会</td> </tr> <tr> <td>委員 舟山 康子</td> <td>公募委員</td> </tr> </tbody> </table>	(委員等氏名)	(所属団体等)	委員長 山口 玲子	米沢市小学校長会会長/米沢市立興譲小学校長	委員 土田 知良	米沢市中学校長会/米沢市立第二中学校長	委員 吉田 直史	米沢市内高等学校長会/山形県立米沢興譲館高等学校長	委員 西辻 祥太郎	山形大学工学部准教授	委員 石崎 毅	山形県立米沢女子短期大学教授	委員 宇山 栄一	米沢市社会教育委員・米沢市公民館運営審議会委員長	委員 佐藤 美洋	米沢市PTA連合会会長	委員 佐藤 繁	米沢市芸術文化協会会長	委員 曾根 伸之	米沢市上杉博物館館長	委員 大河原 真樹	米沢市スポーツ協会副会長	委員 安部 剛	米沢市民生委員・児童委員連合協議会	委員 舟山 康子	公募委員
(委員等氏名)	(所属団体等)																										
委員長 山口 玲子	米沢市小学校長会会長/米沢市立興譲小学校長																										
委員 土田 知良	米沢市中学校長会/米沢市立第二中学校長																										
委員 吉田 直史	米沢市内高等学校長会/山形県立米沢興譲館高等学校長																										
委員 西辻 祥太郎	山形大学工学部准教授																										
委員 石崎 毅	山形県立米沢女子短期大学教授																										
委員 宇山 栄一	米沢市社会教育委員・米沢市公民館運営審議会委員長																										
委員 佐藤 美洋	米沢市PTA連合会会長																										
委員 佐藤 繁	米沢市芸術文化協会会長																										
委員 曾根 伸之	米沢市上杉博物館館長																										
委員 大河原 真樹	米沢市スポーツ協会副会長																										
委員 安部 剛	米沢市民生委員・児童委員連合協議会																										
委員 舟山 康子	公募委員																										
欠席者	<table border="0"> <tbody> <tr> <td>委員 高梨 弘子</td> <td>米沢市私立幼稚園・認定こども園連合会</td> </tr> <tr> <td>委員 遠藤 正紀</td> <td>米沢商工会議所青年部</td> </tr> </tbody> </table>	委員 高梨 弘子	米沢市私立幼稚園・認定こども園連合会	委員 遠藤 正紀	米沢商工会議所青年部																						
委員 高梨 弘子	米沢市私立幼稚園・認定こども園連合会																										
委員 遠藤 正紀	米沢商工会議所青年部																										
事務局出席者	教育長、教育管理部長、教育指導部長、教育総務課長、社会教育文化課長、社会教育文化課主幹、スポーツ課長、学校教育課長、適正規模・適正配置推進主幹、教育総務課長補佐兼総務主査、教育総務課上席専門員、教育総務課主任(総務担当)																										
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 委嘱状交付</li> <li>3 教育長あいさつ</li> <li>4 委員自己紹介及び職員紹介</li> <li>5 委員長の選出</li> <li>6 委員長職務代理者の指名</li> <li>7 協 議             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 会議の公開及び会議録について</li> <li>(2) 米沢市教育振興基本計画について</li> <li>(3) 現状と課題について</li> <li>(4) 意見交換</li> <li>(5) その他</li> </ol> </li> <li>8 その他</li> <li>9 閉 会</li> </ol>																										

<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 出席者名簿</li> <li>・ 米沢市教育振興基本計画検討委員会設置要綱</li> <li>・ 資料 1 「米沢市教育振興基本計画」について</li> <li>・ 資料 2 「米沢市教育等に関する施策の大綱」</li> <li>・ 資料 3 「米沢市教育振興基本計画(令和 3 年度～令和 7 年度)(概要版)」</li> <li>・ 資料 4 「米沢市教育振興基本計画 (令和 3 年度～令和 7 年度)」</li> <li>・ 資料 5 「米沢市教育振興基本計画 (令和 3 年度～令和 7 年度) の施策体系における現状と課題」</li> <li>・ 参考資料 1 「第 4 期教育振興基本計画 (概要)」</li> <li>・ 参考資料 2 「山形県教育、学術及び文化の振興に関する施策の大綱」</li> <li>・ 参考資料 3 「第 7 次山形県教育振興基本計画 (概要版)」</li> </ul>
<p>会議内容</p>	
<p>【1 開会】</p> <p>省略</p> <p>【2 委嘱状交付】</p> <p>省略</p> <p>【3 教育長あいさつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回の教育振興基本計画が策定されたのは令和 2 年度で、コロナ一色の時期であった。学校では、前年度からの臨時休校が続き、4 月に入学式・始業式は実施したものの、子ども達が通常どおり登校するようになったのは 6 月という、今までに例のないことが次々と起こった年であった。また、同年は、現行の学習指導要領が小学校で完全実施の年でもあり、教育内容の面からも、変わり目との年でだった。</li> <li>・ 現在、学校教育はもとより、社会教育、文化、スポーツ、といった諸活動は、以前と同じように行われているものの、いわゆるコロナ禍前とは大きく変わっているのが実情である。</li> <li>・ 学校では、1 人 1 台端末の導入により、一気に ICT 化が進んだ一方、不登校児童生徒の急激な増加や、特別な支援を必要とする児童生徒への対応など、課題が大きくなっているほか、部活動の地域展開や熱中症の対応など、新たな課題も出ている。</li> <li>・ 社会教育、文化、スポーツの分野でも、それぞれ団体の活動の見直しが行われたり、会員が減少したりと、大きな変化がこの数年で起きている。</li> <li>・ 昨今、国際情勢、国内情勢も不安定で、予測困難な時代に突入してるという感じを受ける中、これからの時代をたくましく、力強く生きていく子ども達をどう育てるか、また、最近よく言われるウェルビーイングの向上をどう図っていくか、大変大きな課題であると言える。</li> <li>・ そうした意味で、これからの米沢市の教育の大きな方針である教育振興基本計画は、大切な役割を持つものであると考えるので、委員の皆様が感じておられる課題や思いを共有し、これからの基本計画の提案、作成に活かしていきたい。</li> </ul> <p>【4 委員自己紹介及び職員紹介】</p> <p>省略</p> <p>【5 委員長の選出】</p>	

事務局提案により、山口玲子委員が委員長として選出され、委員の承認を得た。

#### 【6 委員長職務代理者の指名】

委員長から、曾根伸之委員が職務代理者として指名された。

#### 【7 協議】

##### (1) 会議の公開及び会議録について

事務局から、会議の公開に関し、原則として公開すること、会議の一部または全部を非公開とする必要がある場合は、協議を行うものとし、非公開とする理由を公表することが説明された。また、会議録については要点筆記とし、委員への意見照会后、米沢市ホームページにおいて会議資料と共に公開することが説明された。委員から質疑等は無く、承認された。

##### (2) 米沢市教育振興基本計画について

事務局から、資料 1 により米沢市教育振興基本計画の概要や策定スケジュールを説明した後、委員長から、計画期間を令和 8 年度から 12 年度までの 5 年間とする事務局案について委員に諮られた。委員から異議はなく、計画期間は、令和 8 年度から 12 年度までの 5 年間と定められた。

その後、質疑応答が行われ、主な質疑は以下のとおり。

#### 委員

- ・資料 1 に記載の「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」について、スポーツという文言は入っていないが、教育の中にスポーツも含まれると考えるのか。

#### 事務局

- ・お見込のとおり考えている。

#### 委員

- ・前回の計画策定時にパブリックコメントは実施したのか。
- ・実施した場合、何件くらい意見があったのか。

#### 事務局

- ・前回も実施しており、5 名から 13 件の意見があり、文言の修正を 1 件行った。

##### (3) 現状と課題について

事務局から、資料 4 に基づき説明があった後、質疑応答が行われた。主な質疑は以下のとおり。

#### 委員

- ・デジタル教科書は学力が定着しないということが世界各国で立証されているが、米沢市ではデジタル教科書を推進していくのか。
- ・スポーツ施設での熱中症対策に関して、来年度新設される南成中学校には、冷房は設置されないのか。学校施設への冷房設置に対する見解を確認したい。
- ・市民総合体育大会がなくなったことにより、地域の体育振興の役割が無い、体育振興委員になっても仕事が無いということがあるため、地域の体育振興会の解散が始まっている。スポーツ課の考えを確認したい。

#### 事務局

- ・紙ベースの教科書を大事にしながら、場合によってデジタル教科書との使い分けが

必要と考えている。例えば、英語のデジタル教科書では音声を活用するなどの使い分けをうまくできるように考えていきたい。

- ・南成中学校への冷房設置に関しては、整備の基本設計時に庁内で検討を行い、南成中学校だけというよりは、市内の小中学校全体で進めていくべきではという結論から見送った。しかし、昨年度、国が学校施設への空調設備の設置に関して新たな補助制度を設けており、その補助制度を軸に全体的な検討を進めていきたいと考えている。
- ・スポーツ課において、体育振興会の解散に関することは耳にしたことは無いが、ある地区から、地区のスポーツ協会をどうするかという相談を受けたことはある。大きな課題ととらえ、継続していきたいと考えている。

#### 委員

- ・成果指標（K P I）の目標値が細かい数字になっている箇所があるが、どのような根拠で設定しているのか。

#### 事務局

- ・令和元年度の全国学力学習状況調査の結果を受けて、5%程度の上昇等の設定としている。

#### 委員

- ・成果指標（K P I）の目標値について、より良いというのはいいことであるが、例えば85%を88%にするというのは、85%を否定することにもなると思う。米沢市としての水準を決めて、それより超えたのかどうかという基準の方がよいのではないか。

#### 事務局

- ・今回の計画策定にあたり、K P Iの考え方について、様々な意見を頂戴して詰めていきたい。

#### 委員

- ・国や県の直近の教育振興基本計画を見ると、隅々まで広げた枠組みが見受けられるが、米沢市の教育振興基本計画では、現在の柱立てを変えるのかどうか確認したい。

#### 事務局

- ・現在のものを全く変えるということは考えていない。

#### (4) 意見交換

意見交換が行われ、各委員から、資料4に記載の現状と課題に関連して、日頃の考えや意見が出された。各委員の意見は下記のとおり。

#### 委員

- ・学校現場では働き方改革が強く求められる時代になり、教員の業務軽減のためにDXは外せないと考える。
- ・これから育成すべき人材としては、受け身の子どもではなく、様々な場面で、自分の考えを主張したり、新たに見い出したり作り出したりできる、イノベーションを担うような人材育成を考えていきたい。そのためには個別・最適な学びの環境を整えていかなければならない。
- ・個人のタブレットなど、様々な環境整備をしていただいているが、AI学習ドリル

の活用など、様々な環境変化の中で、学校も様々模索しながら進んでいる。

- ・ 現行の計画にある「がってしない子ども」の育成も長い目で見て考えていきたい。その中で、年代ごとの目指すべき姿が指標として示したものがあればありがたい。

#### 委員

- ・ 人生 100 年時代において、AI の進化などの社会の急激な変化により、今の子ども達は、1つの仕事で一生を終えるのではなく、自分のキャリアをバージョンアップしていくことが求められ、学び続ける力、社会の変化に柔軟に対応できる力、情報活用能力などを、子ども達に身に付けさせることが重要と認識している。
- ・ 「何をしたいのか」という観点でのキャリア教育ではなく、「何を軸にした人生を歩んでいくのか」という観点でのキャリア教育を大切にしたい。探究活動を、それ自体を目的とせず自分の得意なところを気付かせるためのキャリア教育と考え、その先につながる学びやキャリア形成につながる教育が必要だと感じている。
- ・ 現行の米沢市教育振興基本計画にある「米沢品質による探究型学習」は非常にいいと思うので、米沢品質による探究型学習とは何か、何をを目指すのかということを含めて協議が必要と考える。
- ・ キャリア教育とは何か、何をを目指すのかという中で、地域のことを考える子どもを育成したり、国や世界を担う人材を育成したりという視点も大事だと考える。

#### 委員

- ・ 子どもを育てる親として、また、自分自身、部活動を楽しんできた立場として、部活動が急激に縮小していくことは、残念に感じている。
- ・ 今後、部活動の地域展開により、地域の専門的なチームで活動することになるが、そこまで本気ではなく多少興味がある程度でも部活動はできた。一方、専門的なチームに行ってしまうと、それ一色になってしまうのではないかと感じる。
- ・ 例えば、競技が上手ではなくても、部活動としては楽しくやっている子どももいる。それが、地域展開となったとき、多分専門のチームには行かないと思うので、そういう子ども達をどう拾っていくかを考える必要がある。
- ・ 指導者の養成及び資質向上も課題であり、学校の教員は指導することについて専門の教育を受けているが、クラブチームなどの指導者は必ずしもそうではない。ハラスメントにあたるような言動がないよう、指導者の資質をどう担保していくかも大切だと考える。

#### 委員

- ・ 香港とハノイの日本人学校に勤務した経験があるが、香港で体育館に冷房が無い学校は無く、ハノイは、最高気温が 40 度を超えるので、必ず冷房が入っている。
- ・ 今の日本は、間違いなく香港より暑い状態であり、冷房が入っていないのは異常ではないと感じるが、日本人は謙虚で慣例に倣うので頑張ってしまう。
- ・ 米沢市は、部活動の参加の仕方が先進的であり、心を育む教育を小学校 1 年生から行っているため、全国的に見ても、子ども達の様子が落ち着いている。
- ・ 先進的な取組をしている米沢市だからこそ、全国に先駆けて体育館に冷房を入れることを、1つずつでいいので、やっていただければと思っている。

## 委員

- ・人生 100 年時代に突入している一方で、少子化、人口減少は大きな問題ととらえている。米沢市は消滅可能都市に挙げられてはいないが、昨年度の出生数が過去最低の 360 人であり、危機的な状況には変わりがない。
- ・地縁団体が縮小化して役員のなり手がいない、地域行事への参加が少なくなり地域コミュニティが衰退するといったことが懸念されている。
- ・社会教育ができることとして、人と人との交流を促進して、地域に新たな価値をもたらすような「仕掛け」づくりを進めることで、地域コミュニティの再生と活性化に貢献することが求められている。個人の成長、それから地域社会の発展の中心となる社会教育、いわゆる「人づくり、つながりづくり、地域づくり」の好循環な持続的な社会を実現するためにも、現在行われている活動をつながりという点に着目して見ていく必要がある。
- ・国や県が目指しているウェルビーイングを実現するためにも、社会教育が担える役割は大きく 2 つあり、「すべての人に学びの場を保障・提供すること」と「新しい時代に向けて様々な主体とのつながりを意識した学びの場を創出すること」が大事と考える。
- ・学びの場の保障・提供については、様々な年代の方々が学べる場を自由に選択して、学び、交流する環境を作ることで、自己肯定感を高めて、やりがいや生きがいを感じられるようにしなければならないと考える。鷹山大学が今年度から新たな形でスタートしたが、講座を設定して終わりではなくて、教える側と学ぶ側が、状況によって交代し、互いに教え合い、学び合いをする関係をつくることで、豊かな学びを生み出し、それが地域に戻ったときに、地域活動の活性化につながると考える。またコロナ禍以降、オンラインを活用した研修が増えている。これからは ICT を活用した講座、ネットワーク環境を整備することで、学びの機会が増えていくと考える。
- ・様々な主体とのつながりを意識した学びの場を創出するという点については、世の中が大きく変わっているので、地域社会のニーズにすべて応えるのは難しい。すべての人が参画して学び合うということは本当に難しいが、様々な組織団体との連携を意識して、学びの場を企画していかなければならない。現在、市内の大学と連携しながら、専門的で高度な講座を設けているが、今後とも継続していただき、さらに、図書館や伝国の杜・博物館などと連携をしながら、学びの場を増やすことも考えられるのではないかと思う。
- ・地域の課題解決に、熱意を持って取り組む人材を育成するという点では、現在、企画調整部コミュニティ推進課で取り組んでいる「地域づくり講演会」等の事業と連携することも、大切ではないかと考える。
- ・コミュニティセンターでは様々な事業が行われ参加者を募る方法は熟知されている。そういう点では学びの場を提供するだけではなく、地域の「集える場所」「つながる場所」「認め合える場所」として、もっと活用できるのではないか。
- ・まもなく、中学校が統合によって 3 校になる。校区が広域化するが、地域の行事とか伝統芸能を大事にしてほしい。その上で、郷土を愛する子ども達を育て見守っていただきたい。

- ・今後心配される様々な自然災害に対応するためにも、その最前線に立つのがコミュニティセンターと考えたときに、地域防災を再確認していただき、地域と学校とを橋渡ししてくれるような役割も担っていただければと考えている。

#### 委員

- ・学校で教える内容が、自身が小学生だった時と比較して多くなっており、課外活動に使える時間が少ないことは、残念に思う。人格形成において、学習だけではなく、課外活動も大切だとうので、時間をとれるようにならないのかと感じる。
- ・ウェルビーイングは大切だと感じており、子どもの自己肯定感は上がってきてると感じる一方で、子育て世帯の幸福感は格差が出てきているのではないかと感じる。
- ・子どもになかなか向き合えないという世帯もあるので、地域で守っていくのは大切だと感じるが、地域の方々もかなり疲弊しているところが見受けられる。
- ・高齢化が進み、若い人が地域に参画しないということについても、抜本的な改革が、教育だけではなく、社会全体の現象として見ていく必要がある。
- ・部活動の地域展開についてもPTAとして心配している。子ども達には、生涯スポーツや文化活動など、興味を持って学べるものを持って欲しいと思っており、部活動の地域展開により、そういうものを持たない子どもも出てくると、ウェルビーイングに影響があるのではないかと懸念している。
- ・小学生のうちから、スポーツ少年団や部活動などの関わりを見つけられるように、できることを推進することで、中学校の部活動の地域展開の障壁を少しでも緩和できればと考えている。

#### 委員

- ・米沢での芸術文化の愛好家は増加していると考えているが、それが目に見えず、個別化・個人化しており、集計された数値には含まれず、反対に、団体やイベント参加者等が数値化されていて、減少傾向と捉えている。この視点の違いを踏まえると、新たな文化活動への参加の仕方やICTやインターネット上でのアートや芸術・文化活動も将来を作っていくものと捉えて、支援や普及活動を推進していく方策も必要と考える。
- ・インターネット上で活躍できる若者は、場を選ばないので、地方や地元に着する傾向があり、十分な収入も得ているので、それらも教育振興基本計画にも盛り込んでいければと思う。
- ・小中高生の放課後の活動は、スポーツがメインというのが現状だと思うので、芸術文化への参加を促すことが必要と考える。週1回とか月に何回かは、文化活動と体育活動のバランスをとるような放課後活動を米沢市では推進して、心の豊かさとか、個人の可能性を広げていくことが必要ではないか。
- ・ドイツでは、教育の3本柱がはっきりしていて役割分担されている。1つは「学校教育」で学力をつける。2つ目が「社会教育」で様々な体験や個性を磨く、特技を身に付ける。3つ目が「家庭教育」で道徳やしつけの面での人間育成を図る。それぞれが法制化されていて、役割が分担されて充実していることから、一人の子どもが1日に3つの場で教育を受けられ、個性豊かな人間作りに力を入れていると感じる。

- ・様々な時代の変化に応じて、米沢らしさを強調した教育振興基本計画になればと思う。

#### 委員

- ・自己肯定感に関して、資料4において、博物館や図書館との連携を自己肯定感のKPIに位置付けてあり、重要な課題と捉え、2点考えている。
- ・1点目が、地域学習という観点から、米沢の子ども達にぜひ博物館に来ていただきたい。博物館、図書館をフィールドにした地域学習が、子ども達の自己肯定感、郷土肯定感につながると思う。
- ・2点目が、探究型学習とかキャリア教育に関して、小中学校の段階から地域をフィールドにした探究的な学びの必要性を感じており、郷土愛や自分の生まれた米沢が好きになるという点では大事だと感じる。子ども達は、大人が思っている以上の力や可能性を持っていると思うので、地域の伝統文化や文化財の保存や、文化芸術に親しむという点において、子ども達から地域づくりについての意見や考えを引き出せるのではないかと、それが探究的な学びの一つの要素ではないかと思う。
- ・子ども達の考えを生かし、発想力を褒めながら、地域学習や総合的な学びについて米沢ならではのものを形づくり、地域が好きな子ども達、さらにはアントレプレナー的な、将来的に地域を自分の力で何とかしていきたいと思う子ども達の力にもつながっていくと思う。

#### 委員

- ・20年ぐらい前から米沢の教育界で、実学性を重視する方針が出て、今も受け継がれていると思うが、最近、その反対の「虚学」とでもいうものが大事だと思う。実学を支えるために、もっと本を読み、映画を楽しみ、いろいろな芸術を楽しむ。実学を重視するあまり、もっと大事な人間を作るところが削られてないかを感じる。人間を前に動かす力は、実学だけではなく虚学があるのではないかという意味では、もっと本を読む子どもを育てることについて、市全体として取り組む必要がある。
- ・スポーツ関連では、部活動が果たしてきた役割は日本の文化の中で大きいですが、現在は、社会体育に移行する分岐点で、うまく移行できてないと感じており、指導者について、夜遅くまで活動している、暴言があるといった声が聞こえる。
- ・移行は、もっと準備してからがよいと思うが、時代の流れだと感じる。しかしながら、教員の働き方改革に部活動が使われているのは違うと考え、教員の多忙は部活動ではなく、もっと他にあるが、なかなか無くせない。教員は子どもとの触れ合いを大事にするので、部活動はその触れ合いの最たるものである。
- ・もちろん部活動は形を変えていくべきで、今までの活動はありえないが、社会にスポーツを移行したときに、受け皿や指導者について考えないと、全く運動しない子どもが多くなり、弱さから逃げる子どもが多くなる。どの地区も準備ができていない中で、スポーツ協会として何ができるかを真剣に考えていかなければならない。

#### 委員

- ・主任児童委員として子どもに関わる中で、不登校、いじめ、児童虐待、家庭の貧困、ヤングケアラーといった情報をつかむように心がけているが、個人情報の観点から、情報を得ることが難しい場合が多い。学校と地域の連携は、コロナ禍以降、な

かなか復活していないので、改善していきたいと考えている。

- ・少子化の影響で、登校班を組めないという話を聞く。朝は家族が隣の登校班の集場所まで送っていき、帰りは迎えに行く方法で対応している家庭があり、三世代同居であるからそのような対応ができるが、核家族では難しい。
- ・日頃、福祉の面で活動しているが、主任児童委員が活動しやすいような教育振興基本計画になればと思う。

#### 委員

- ・2014年からスタートした絵本専門士という資格を持っている。絵本専門士の資格は、読書の入口である絵本に関わる人材を全国に養成して、子ども達、そして大人にも絵本の可能性を広げる役割を担っている。先端技術が日々生まれている社会の中で、絵本という昔からある文章と絵で構成されるシンプルな媒体が、今でも子ども達に支持されていることに感銘を受けている。絵本から始まる読書の推進について、自らの考えや思いを検討委員会で伝えたい。
- ・図書館でも「ブックスタート」や「おはなし会」というイベントを実施しているが、机上で何かを考えるよりも、図書館のフロアで、たくさん子どもさんたちに会うことが重要と考えている。どんなに小さい子どもでも、家族の脇に座って本を読んでもらっているときの熱心な姿を見ると感動を感じる。
- ・「本」と言うと、学力の向上とセットに考えている方も当然いるが、絵本から始まる読書は、心を耕す時期にとっても大切と考えている。本は楽しみであり、楽しみの積み重なりが子ども達の力になっていく。すぐに効果が出るわけではなく、子ども達が大人になってから、人生の支えになってくると信じている。

#### (5) その他

省略

#### 【8 その他】

省略

#### 【9 閉会】

省略